

風水害の知識

台風

日本列島には毎年多数の台風が接近または上陸し、強風と大雨によりたびたび大きな被害にあっています。台風情報に注意して被害が出ないように備えましょう。

台風の大きさは「強風域(平均風速 15メートル毎秒以上の強い風が吹いている範囲)」の半径で、強さは「最大風速」で表されています。

集中豪雨

集中豪雨は、短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことで、梅雨の終わりごろによく起こります。狭い地域に限られ突発的に降るため、その予測は比較的困難。中小河川の氾濫や土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害が予測されます。がけ付近や造成地、扇状地などは気象情報に十分注意し万全の対策をとるようにしましょう。

注意報・警報

注意報は災害が起こるおそれのあるときに、警報は重大な災害が起こるおそれのあるときに発表されます。

気象情報

気象情報は注意報や警報に先立って注意をうながしたり、注意報や警報が発表されたあとの補足や防災上の注意を解説する場合などに発表されます。

洪水からの避難ポイント

1. はき物

裸足、長靴は禁物。ひもでしめられる運動靴がよい。

2. ロープでつながって

はぐれないようにお互いの身体をロープで結んで避難しよう。とくに子供から目を離さないように。

3. 歩ける深さ

歩ける深さは男性で 70cm、女性で 50cm。水深が腰まであるようなら無理は禁物。高所で救援を待とう。

4. **足元に注意**

水面下にはマンホール、側溝などの危険が潜んでいる。長い棒を杖がわりにして安全を確認しながら歩くこと。

5. **子供や高齢者を安全に**

高齢者や病人などは背負う。幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保する。